

# 安全指導だより 4月号

令和7年4月23日（水）  
西東京市立田無第四中学校  
生活指導部 安全指導係

安全指導だよりでは、避難訓練の反省や災害そのものについて、西東京市での災害の情報など、様々なことを時期に応じて発信します。ぜひ目を通してみてください。

## < 4月避難訓練の振り返り >

4月の避難訓練は、「避難経路の確認」と「不審者対応の確認」でした。避難経路は「全避難」「東避難」「西避難」があります。基本的な考え方（全避難）は



- ・校舎内の一番近い階段や出口から校庭に避難する

です。東避難と西避難は、それぞれどちらかの階段が使えなかった場合を想定しています。

不審者対応はバリケードの作成と放送用語の確認を行いました。バリケードの作成は繰り返し行うことで、いち早くバリケードが作成できるように練習をしました。また、火災や地震、不審者対応など、避難が必要な場合には放送の指示が入るので、静かに指示を聞いて行動しましょう。

さて、突然の問題です！



Q. 階段を使って避難する場合、正しいのは次の2つのうち、どちらでしょう。

- ① 4階から避難する生徒は、なるべく階段の外側を使用する。
- ② 4階から避難する生徒は、なるべく階段の内側を使用する。

ヒントは、①②それぞれの場合を想像してみる事です。

みなさんが4階から避難しているときに、他の階から同じ階段を使って人が合流してくるかもしれませんね。そのとき、なるべく避難する人の流れが止まらないのは、どちらの場合か考えてみましょう。

## 避難訓練を行う理由

学校では、年間に行う避難訓練の回数などが決められています。皆さんも今まで小学校や中学校で何度も避難訓練を行ってきました。その内容や時間帯は様々です。では、なぜ何度も避難訓練を行うのでしょうか。みなさんは、考えたことがありますか。

災害は「いつ、どこで、どんなことが」起こるかわかりません。いつでも、どこでも、避難が必要な場合には、「自分の命を守る行動がとれる」ようにならなければなりません。

だからこそ、1回1回の避難訓練に真剣に取り組んでほしいと思います。そして、学校以外の場所で災害に遭遇したときなどは、避難訓練や安全指導だよりで得た知識や判断力を、生かしてもらいたいと思います。



< 落とし物のお知らせ > 落とし物ロッカーの場所: 校長室前  
時計・キーホルダーなどあります。  
心当たりのある人は職員室の先生に申し出ること。

# 落雷から身を守るために

最近、中学生の落雷事故が発生しています。今後、夏になるに向けてさらに大気の状態が不安定になり、落雷の発生が増えることが予想されます。落雷から身を守るために、留意してほしいことを確認しておきましょう。

- ① 厚い黒雲が頭上に上がった際には、雷雲の接近に注意する。
- ② かすかでも雷鳴が聞こえる際には落雷の危険がある。
- ③ 落雷の危険がある場合には、すぐに安全な場所（鉄筋コンクリートの建物、自動車、バス、列車等の内部）に避難する。

このほか、気象庁ウェブサイトにおいて、雷注意報等の発表状況や、雷発生の感応性の高い地域が地図上で確認できるものも提供されているので、こうした情報も活用していきましょう。

また、防災ノートに記載されている資料も合わせて確認しておきましょう。

<防災ノート資料>



激しい雷雨になることがあります。  
雷は、命をうばうこともあります。  
すみやかに安全な場所に避難します。